NO1

膵頭十二指腸切除術を受けられる患者さまへ ID: @PATIENTID

病 名			お名前:@PATIENTNAME 様				
月日	/	/	/			/	/
経 過	入院	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後2日	手術後3日
達成目標	◇手術に同意している ◇手術前の準備ができている	◇手術に同意している ◇手術前の準備ができている	◇()時以降の絶飲食を守ることができる ◇38.0以上の発熱がない	◇手術後の苦痛がコントロールされている ◇呼吸・血圧が安定している	◇手術後の苦痛がコントロールされている◇寝返りを打つことができ、座れる◇息苦しさがない	◇息苦しさがない ◇立ち上がることができる または歩行できる	◇水分をゆっくり少量ずつ飲むことが
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置 リハビリ	- 体重を量ります	・へその処置を行います・15時に下剤を飲みます・21時に胃薬を飲みます	・朝までに便が出なければ、知らせてください ・午前中に点滴を始めます(午後手術の方) 身につけているものを外してください (時計・入れ歯・コンタクトレンズなど) ・弾力ストッキングをはいていただきます ・手術30分前に手術着に着替えます	手術後は病棟又はICUに入室となります 心電図 酸素吸入 腹部ドレーン 胃管チューブ 足もみ器械(メドマー) 背中からの痛み止め	皮下注射(21時)	皮下注射(9時、21時)	
検査		必要に応じて採血があります			必要に応じて採血があります――――		•
活動•安静度			制限はありません	ベッド上安静です	座ることから練習していきましょう	歩く練習をします 頑張って歩行しましょ う	
食事	普通食です	夕食以降は欠食となります 水分は飲んで頂いて構いません (水・茶・スポーツ飲料類)	欠食です			水分、食事は医師の指示で始まります	
清潔		処置後、入浴していただきます			身体を拭いて着替えます		タオルを配ります 拭ける所は自分で拭いてみましょう
排泄			便が出なければ、下剤(座薬)を使用します	手術中より尿道カテーテルが入ってきます ―			
患者様及びご 家族への説明 栄養指導 服薬指導	ご家族の方は手術の1時間前 常用している薬等がありました。 《手術の必要物 和式の寝巻 腹帯 1枚	/ :) い 養師に渡してください の予定です までにお越しください らご提示下さい	のみ	手術後は病棟又はICUで細かく経過を観ていきます 痛み・吐き気などがありましたらお知らせください 術後、医師よりご家族に手術結果の説明があります	一般病棟へ戻ります 21時から術後7日目まで、血栓予防の皮下注射を打ちます。2日目からは1日2回打ちます。 ※医師の指示により打たないこともあります。	・ゆっくり時間をかけ、食べるようにします	

^{*}病名、入院期間等は現時点で考えられるものであり、治療・検査等を進めるにしたがって変わることがあります。原則として、退院後は在宅療養となります。

膵頭十二指腸切除術を受けられる患者さまへ

月	日	/	/	/	/	/	
経	過	手術後4・5・6日目	手術後7・8・9日目	手術後10・11・12日	手術後13・14日	手術後15日	退院(手術後16日)
達成目		◇水分をゆっくり少量ずつ飲むことができる	◇食事時間を20分以上とることができる ◇排ガスがある・腹部膨満がない	◇食事時間を20分以上とることができる	◇食事時間を20分以上とることができる ◇排ガスがある・腹部膨満がない	◇食事時間を20分以上とることができる	◇腹部膨満・発熱がない ◇排ガス・排便がある
治療 • (点滴 • 	薬剤 内服) _置	腹部ドレーン ————————————————————————————————————		•	•		・退院診察を受けます
1)/\t		皮下注射(9時、21時) ――――――――――――――――――――――――――――――――――――					
検証		必要に応じて採血があります				-	
活動•3	安静度						
食	=						
清清	切 糸	タオルを配ります		•	許可がでれば入浴またはシャワーが できます		
排沈	世	術後4日目ぐらいに尿道カテーテルを抜きます 尿を溜めていただきます		—			
患者様な	の説明					《退院後の生活について》 ・便秘にならないように心がけてください ・食事はゆっくり噛んで食べましょう	次回外来受診日は退院日に説明します ・採血がある場合は説明します ・診察券を必ずお受け取りください ・異常がありましたら、外来受診してください ホ大事に !!
栄養排 服薬排							

市立四日市病院 外科 更新日 H28/9/12